

「いのちを見つめる強調月間」についての基本方針



1 はじめに

「自他のいのちを大切にし、思いやりのある子どもを育てる」という、子どもを取り巻く私たち大人の共通の願いをもとに、PTAと学校支援会議の協力を得ながら、6月の「いのちを見つめる強調月間」を有意義なものにする。

特に、子ども同士をはじめとして、保護者・地域の方々等とのかかわり合いを意識した活動は、本校教育の要として位置づける。

また、6月18日（月）から22日（金）までを「学校開放週間」とし、広く保護者や地域の方々に来校していただき、学校教育への理解と協力をいただくようにする。

具体的には、以下の取組を実施し、落ち着いたある、生き生きとした子どもたちの姿をアピールできる場にしたいと考える。

- ① 「いのちを見つめる集会」を中核とした「いのちを見つめる日」の活動
- ② 「道徳授業」や「ボランティア感謝の会」等を実施する「学校開放週間」の設定
- ③ いのちを育む「赤ちゃんふれあい体験」の開催
- ④ 佐世保空襲の日に平和について考える「平和集会」の開催

2 ねらい

6月の「いのちを見つめる強調月間」において、様々な人々とのかかわり合いを通し、自他のいのちの大切さに気づき、相手に対して思いやりのある心と態度で接することができるようにする。

3 「いのちを見つめる強調月間」の取組

	日	曜	取 組
6 月	1	金	いのちを見つめる集会（9:35～10:20）
	18	月	集団下校〔危険箇所点検〕（14:05～15:00）
	19	火	ボランティア感謝の会（8:20～8:40）
	20	水	
	21	木	
	22	金	道徳授業公開（14:05～14:50）
	25	月	学校保健委員会（13:05～13:50）
	28	木	赤ちゃんふれあい体験5・6年（9:35～11:20）
	29	金	平和集会（8:20～8:40）

4 「いのちを見つめる集会」の具体的な取組

(1) 日時 6月1日(金) 2校時(9:35~10:20) 全学年

(2) 場所 大久保小学校体育館

(3) 日程

- ① 校長講話 生命の尊さについて述べる。
- ② 黙禱 さとみさんとゆうかさんを偲んで1分間の黙禱をする。

③ 「輝きっ子クローバー」の説明(6年児童)

四つ葉のクローバーを形作る4つのハートの意味

- ・子ども
- ・学校
- ・家庭
- ・地域

かかわり合い → 一体

④ 「決意の言葉」の発表

各学年、職員代表、保護者代表、地域代表

生命尊重・人権をテーマとした決意文を述べる。(1~2分程度)

※ 地域の代表は、学校支援会議の委員から選出する。

⑤ 「大切な友達」斉唱

⑥ 校歌斉唱



5 備考

- 司会やその他の担当については、教職員と学校支援会議委員で割振りし、児童・教職員・保護者・地域の方々が協力し合い、進めていく。
- 報道のあり方については、事前に打ち合わせを徹底し、子どもが圧迫感を感じないようにする。
- 学校支援会議の委員(12名)は、次のとおりである。
 - ・大久保地区連合町内会長(1名)
 - ・校区内有識者代表〔佐世保市教育会会長〕(1名)
 - ・大久保地区福祉推進協議会会長(1名)
 - ・学校評議員(3名)
 - ・放課後子ども教室コーディネーター(1名)
 - ・PTA会長・副会長(2名)
 - ・学校〔校長・教頭・教務主任〕(3名)